

奨励賞を受賞して

日本食品化工株式会社研究所

和田 幸樹

この度は、シクロデキストリン学会奨励賞という名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。改めまして学会長の池田幸先生をはじめ、選考委員並びに関連の諸先生に厚くお礼申し上げます。また、本賞へご推薦いただきました小川浩一学会理事に心より感謝申し上げます。

私とシクロデキストリンとの出会いは、熊本大学薬学部にて4年次生へ進学する際に上釜兼人教授（現崇城大学 DDS 研究所特任教授）の人柄にひかれて製剤学研究室（現製剤設計学分野）へ配属されたことに始まります。それから、大学で博士後期課程までの6年間シクロデキストリンの医薬への利用について研究を行いました。その後、シクロデキストリンの研究を行っていた縁で現職である日本食品化工株式会社の研究所に就職し、現在に至るまで8年間シクロデキストリンの食品・化粧品・医薬品への応用研究及びそれら分野で使用できるシクロデキストリンの開発に従事して参りました。受賞対象となりました「医薬用 2-ヒドロキシプロピル-β-シクロデキストリンの開発及び生体サンプルからの検出法の確立」は、2-ヒドロキシプロピル-β-シクロデキストリン (HP-β-CD) を海外メーカーと同等以上の品質で製造可能となったこと及び HP-β-CD の生体サンプルからの簡便な定量法として確立したことを示したものであり、今後の日本における HP-β-CD の医薬品への利用に貢献できるものと考えております。

また、現在シクロデキストリンに関してその誘導体が薬理活性を有する物質として検討される例が報告され、疾病の治療薬としての使用法についての研究が活発に行われるようになって参りました。実際にライソゾーム病の一種であるニーマンピック病 C 型について、HP-β-CD が投与されており一定の効果を示していることが報告されております。今回の受賞課題については、このようなシクロデキストリンの薬理活性物質としての利用するにあたっての、研究開発の一助になれば幸甚です。

私が勤めております日本食品化工株式会社では、自社で酵素を開発し各種シクロデキストリンの製造を行っており、その用途開発・販売分野も食品・化粧品・医薬品と多岐にわたっております。また、シクロデキストリンの誘導体開発についても鋭意進めており、平成11年には弊社の先輩社員である住吉氏が HP-β-CD の工業的な製法についてシクロデキストリン学会奨励賞を頂いております。このように、弊社に脈々と受け継がれるシクロデキストリンの開発の歴史、即ち多くの先輩方の努力があったことが、今回の受賞に繋がったものと考えておりますので、この歴史を絶やさぬようそして更に発展させていくために日々、精進して参る所存でございます。最後になりましたが、本開発及び研究を遂行するにあたり、有馬先生をはじめ、多くの皆様に多大なご指導・ご協力を頂いたことに、厚く御礼申し上げます。